

はぐるま

平成29年4月発行 92号

目次

- ・新入職員紹介 —2
- ・入職医師紹介 —3
- ・摂食嚥下外来開設と
 歯科口腔外科外来改修 —3
- ・看護部だより —4
- ・脊椎の病気とMRI ② —5
- ・恒徳会だより —6
- ・茨城県病院協会表彰者 —7
- ・10年勤続表彰者 —7
- ・外来診察担当医表／編集後記 —8



看護技術（演習）血糖測定



看護技術（演習）ベッドメイキング



ようこそ! NEW FACE



院内感染対策（演習）
手指衛生の実際「グリッターパグ」



協和中央病院の「機能と役割」について（講義）



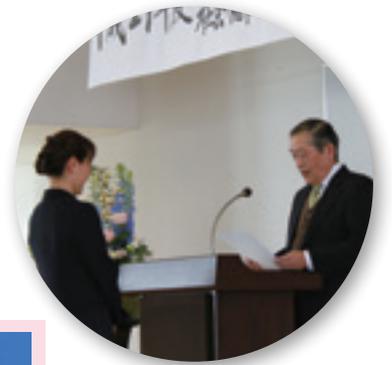
院内感染対策（演習）
スタンダードプリコーション

平成29年度

新入職員



平成29年度は、11名の新入職員を迎えました。一日も早く皆さまに顔と名前を覚えていただけるようがんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



医療法人 恒貴会

看護部

①出身地 ②目標 ③長所 ④尊敬する人 ⑤初任給は何に使いますか？

看護師

そのだ
蘭田 紗代
さよ



- 1 筑西市
- 2 主体的に学ぶ
- 3 前向き
- 4 祖父
- 5 家族をご飯へ連れていく

看護師

あいざわ
相澤 直輝
なおき



- 1 筑西市
- 2 日々勉強、日々努力
- 3 凝り性
- 4 両親
- 5 両親へのご馳走、生活必需品

看護師

さかいり
坂入 春奈
はるな



- 1 筑西市
- 2 思いやりの心を忘れずに、日々成長する
- 3 まじめ? やさしい
- 4 母
- 5 家族でおいしいものを食べたい

看護師

まつうら
松浦 絢香
あやか



- 1 筑西市
- 2 いつも笑顔で一つひとつの行動に責任を持つ
- 3 誰とでも仲良くできること
- 4 母
- 5 家族にプレゼントを買いたい

介護士

たきた
滝田 結美
ゆみ



- 1 水戸市
- 2 笑顔を忘れず、日々努力する
- 3 負けず嫌い
- 4 祖母
- 5 家族と食事に行きたい

介護士

ちくさ
千種 重智
しげとも



- 1 水戸市
- 2 オンオフの切り替えをしっかりと
- 3 相手の立場で物事を考えられること
- 4 ジャンヌ・ダルク
- 5 新作のプラモデルを買いたい

介護士

うえの
上野 夏奈
かな



- 1 筑西市
- 2 相手の立場になって行動できるように
- 3 前向きになれる
- 4 両親
- 5 家族にプレゼント

医療技術部

診療放射線技師

おおかわら
大川原 佳紀
よしき



- 1 群馬県前橋市
- 2 一人前の診療放射線技師になる
- 3 体力とやる気に自信あり
- 4 中田英寿(元サッカー-日本代表)
- 5 母親に新しいスマホをかう予定

事務部

事務職

くりはら
栗原 由梨
ゆり



- 1 桜川市
- 2 自分らしく頑張る
- 3 元気
- 4 母
- 5 ちょっと高価なものを1つ買う

事務職

えびはら
海老原 光希
みき



- 1 筑西市
- 2 相手の立場になって考え行動することを常に心がける
- 3 忍耐強い
- 4 母
- 5 貯金、自分の生活費

事務職

くぼ
久保 香澄
かすみ



- 1 結城市
- 2 早く仕事を覚えて必要とされる人材になる
- 3 常に笑顔でいること
- 4 母
- 5 家族を食事に連れていく

入職医師紹介

協和中央病院 外科 **たなか げんき**
田中 元樹



29年4月から外科に勤務させていただいております。獨協医科大学を卒業後、同病院第二外科に入局し、研鑽を積んでまいりました。肝胆膵がメインの外科ですが、消化管やヘルニア、痔などの一般外科から下肢静脈瘤、内シャント増設などの末梢血管手術にも対応いたします。不慣れな部分もあると思いますが、同医局出身の佐藤副院長、石川外科部長のご指導の下、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。趣味はバンドでドラムを担当しております。興味がある方はお声かけください。どうぞよろしくお願いいたします。

(外来診療日：木・土曜日 午前)

協和中央病院 内科 **こやま みお**
小山 美緒



2017年3月より協和中央病院に勤務させていただくことになりました。2007年に自治医科大学を卒業後、出身地である山形県および福島県のへき地医療に従事してまいりました。専門は精神科、老人内科ですが、当院では一般内科を担当させていただきます。プライベートでは3児の母です。このたび家庭事情によりこちらに転居してきたため、茨城県の事情に疎い面がありますが、地域住民の皆様方の健康増進に貢献できますよう努力してまいります。どうかよろしくお願いたします。

摂食嚥下外来の開設と歯科口腔外科外来の改修拡張工事のお知らせ

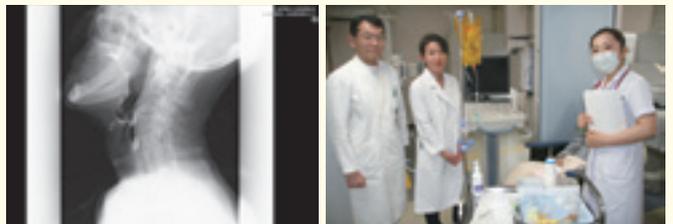
新しいご馳走の発見は、新しい星の発見よりも人々を幸せにする～美味礼讃で有名なフランスのブリア・サヴァランの言葉です。食べる楽しみは生きる意欲になり生活の質を向上させますが、疾患や加齢によって「物を食べて飲み込む」という口腔の機能が上手くできない状態を摂食嚥下障害といいます。高齢者の場合は脳血管障害や長期療養による廃用症候群が主な原因となります。嚥下障害がおおると栄養低下と共に食物や唾液の気道への流入「誤嚥」によって肺炎を起こします。肺炎は日本人の死因第3位ですが、特に高齢者では肺炎で亡くなる方が多くその原因は誤嚥性肺炎と言われています。私たち歯科口腔外科ではこれまで歯周病等の歯科治療や口腔ケアによって誤嚥性肺炎の予防に関わってきましたが、今春より自治医科大学より山川道代先生をお迎えして摂食嚥下外来を開設し、より積極的に口から食べることへの支援をしていくことになりました。嚥下障害はむせや咳き込みなどの観察だけでは評価が難しく、嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査による検査が必要となります。会話に問題がない方でも検査で誤嚥がわかることもあり、画像による客観的な評価は今後の治療やリハビリテーションの方針を決定し退院後の療養の場を検討する上でも非常に重要

協和中央病院
歯科医長
串田 淳子



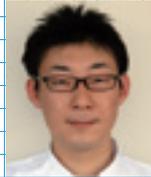
となります。当面は入院中の患者様が対象ですが、主治医、看護師、言語聴覚士、栄養士、放射線技師等の多職種と連携し、食べたいという患者様ご家族様の思いに応えられるようスタッフ一同取り組んでいきたいと思ひます。

歯科開設より31年、口腔外科開設より13年が経ち、診療機器の老朽化が進んできました。4月より外来改修拡張工事を行い、新規に6台の診療ユニットを配しリニューアルします。外来手術室やカンファレンスコーナーも新設され、より患者様目線に立った診療室になる予定です。工事中はご迷惑をおかけしますが、新しい体制のもと地域の皆様に信頼される歯科医療を提供すべく努力してまいります。



新人看護師 1年を振り返って

協和中央病院 北2階病棟 看護師
長峰 和也



恒貴会基本理念は「相手の立場に立つ」である。私は理念に基づき患者様の思いに寄り添い、質の高い看護を目標に看護実践しております。北2階内科病棟に配属となり早一年がたちました。まだまだ未熟なことも多く、プリセプターや先輩看護師指導のもとで看護師としての責任感と知識・技術を磨き、今まで以上に仕事に精進してまいります。今後の目標としては、今より一步患者様に安心感を与えられるように笑顔をお見せできる看護師を目指したいと思います。



静脈注射研修



当院では新人指導にプリセプター制度を取っています。プリセプターとして新人看護師とコミュニケーションを図り、悩みや分からないところを聞きながら問題解決し、ひとり立ちできるようにサポートしてきました。3交代勤務ですが、チームメンバーと協力し合い、情報の共有を行うことによって新人看護師が未経験の援助を学べるように関わりました。一年後の成長を頼もしく感じ、自分自身も指導を通じて看護を振り返ることができました。

協和中央病院 北2階病棟 看護師 齋藤 智子

「実習指導者講習会を終えて」

協和中央病院 新館2階病棟 看護師 廣澤 千香



約40日間に渡り、実習指導者講習会の研修に参加しました。就職してから薄れてきていた、学生時代の新鮮な気持ちや、看護に対する思いを、原点に戻って考え直す、とても有意義な機会を得ることができました。まず、学生指導の方法として印象に残ったのが、「発問」を取り入れ、学生の思考や感情を深める聞き方をする、というものです。看護ケアを行ってみて、どのような所に気づいたのか、もう少し工夫した方がよい所はあるのか、など介入を行っていきます。また、看護ケアの方向性の統一が大切であるとともに、最初に学生に指導した方向とずれが生じないように、一貫性のある指導が必要であることも痛感しました。前期の研修の中で、「教育心理学」の授業内容が特に興味深いものであったのを覚えています。それは、「教師期待効果」という内容で、学生や新人は、期待する方向に良くも悪くも変わっていくこと、指導者によって、伸びも違ってくる、ということが示されていました。また、実習指導においては、学生を比較したり並べる、といったことをしてしまうと、必ず優劣が出てくるため、個々の「個性」を見る力を持つことも、必要である、ということが強く心に残りました。今回の研修での学びを、今後の学生指導に役立てていきたいと思っています。

リース作り・懇親会の感想



看護部では交流を深めるためにクリスマスリースづくりを企画しました。和やかな雰囲気の中で会話が弾み、とても楽しい時間を過ごすことができました。また、他病棟看護師と親しくなり、今後の仕事において連携が高められたと思いました。講師の先生の丁寧な指導もあり、薔薇をメインとした素敵なリースが完成しました。

協和中央病院 外来看護科 看護師 平石 聡美

看護の日

毎年5月12日は『看護の日』です。平成29年5月7日～13日までが看護週間となります。メインテーマは「看護の心をみんなの心に」。21世紀の高齢化社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を一人一人分かち合う必要があります。こうした心を、老若男女問わず誰もが育むきっかけとなるよう旧厚生省により1990年に『看護の日』が制定されました。

本年度も協和中央病院では、看護の日普及活動としてイベントを行います。皆様ぜひお立ち寄りください。

日時 5月10日(水) 14時～16時
場所 カスミ協和店
内容 血圧測定・体脂肪測定・ストレスチェック・血管年齢チェック、健康相談等

脊椎の病気と

M R I

②



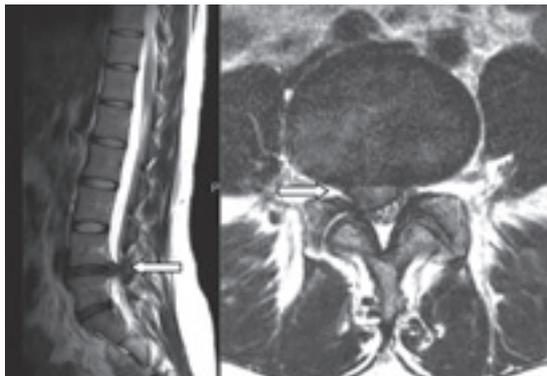
協和中央病院
放射線科
部長
阿武 泉

前号に引き続き、脊椎の病気についてです。

腰椎椎間板ヘルニア

側面像では腰椎下部に突出する、黒色のヘルニア（←）があり、髄液腔（白色）に突出している。

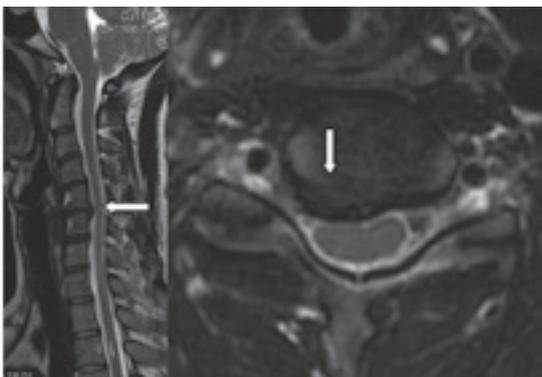
輪切り像では、脊椎管に右側前方から突出する三角形のヘルニア（→）が存在する。これが神経を圧迫して、しびれ、痛みを起こす。



頸椎椎間板ヘルニア・頸椎変形

側面像では頸椎後方に突出するヘルニア（←）があり。

輪切りでは右側前方（患者の）から後方に突出するヘルニア（↓）があり、脊髄を圧迫する。頸椎部には太い脊髄があり、腕の障害や、場合によっては躯幹部や下肢の麻痺を起こすことがある。



腰部脊柱管狭窄

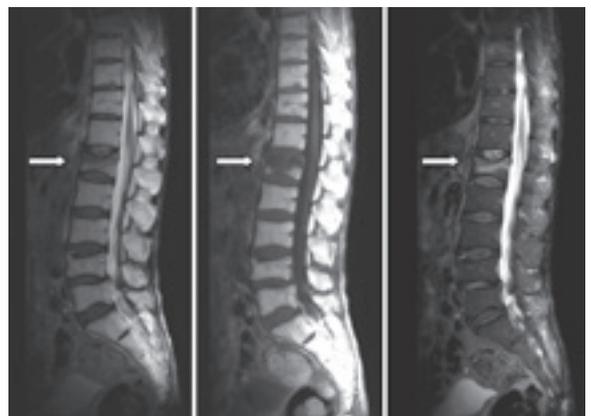
腰部脊柱管は狭窄し、髄液（白色）は数カ所まで変形、狭窄している。加齢により椎間板の変性、変形、骨の変形、靭帯の肥厚した状態。単純な椎間板の摘出手術では症状は改善できない。腰痛、足のしびれ、歩行困難などを起こす。高齢者の腰椎はほとんどがこれらの複合的要因による。大きな手術を必要とする場合が多い。



第一腰椎圧迫骨折

第一腰椎は高信号輝度（白くなり）、中央部が陥凹している。脊髄の圧迫はない。

変形が強く脊髄を圧迫すると、麻痺がでることがある。（第一腰椎の高さでは脊髄はなく、馬尾という細い神経の束になっている）。高齢の女性は骨粗鬆症（こつそしょうしょう）になりやすく、わずかの負荷でつぶれやすい。骨粗鬆症の検査を行い薬物療法を行い、不用意に重い物を持たないことが肝要です。



まとめ

脊椎の疾患は運動機能に影響を及ぼし、生活に支障を来す病気です。動けなくなる前に適切な診断を行い、治療することが必要です。物理的に神経を圧迫している場合は薬物療法では治療が難しいのが一般的です。

すみれ園

防災訓練を実施して



すみれ園
生活支援課長
飯泉 良次

すみれ園では年間を通して、夜間・日中の火災避難訓練、震災対応訓練、風水害対応訓練等を実施していますが、平成29年2月22日、夜間の時間帯を想定した火災避難訓練を協和分署の消防士立会いの下、実施しました。出火場所の発見・初期消火に始まり、消防署への通報、利用者様の避難・誘導等、一連の動きを2班に分けて行いました。

訓練後、今回訓練を行った職員に感想を聞いたところ、事前に何度もシミュレーションを行っていたが、いざ訓練が始まると、思っていたようには動けず「気持ちと身体がバラバラに動いてしまった」、「パニックになってしまい連携が上手く取れなかった」等、少し悔いの残る結果になってしまったと話していました。今回の訓練が初めての参加となった職員は「必死すぎてよく覚えていない。心臓が口から飛び出しそうになるくらい緊張した」と話していました。

悔いが残ったり緊張したりするのは、それだけ訓練に真剣に取り組んだ証ではないかと思えます。真剣に取り組んで出た反省点は次回の課題となり、それらを克服することが訓練の本質であり意義あるものだと思います。消防士の方からも様々なご指摘やお褒めの言葉をいただき、今回訓練を受けた職員、訓練を見学した職員にとって、とても良い訓練になったのではないかと感じました。

今後も職員一同、どんな非常時にも対応できるよう、しっかりと訓練を積みしていきたいと思えます。



桃香園

鍋を囲む会



桃香園
生活支援員
堀江 直樹

2月15日(水)「鍋を囲む会」を開催いたしました。園では毎年の恒例行事となっており、今年も利用者様の希望を取り入れ



「すき焼き」「塩ちゃんこ鍋」を召し上がっていただきました。利用者様、職員が一緒になりアツアツの鍋を囲むことで、よりいっそう親睦が深まったように思います。デザートにはアイスクリームを食べ、利用者様からは「熱い鍋の後に食べるアイスは最高だ!」との声も聞くことができました。「来年はどんな鍋が食べたいかな?」「キムチ鍋とかあんこう鍋、チーズ鍋も気になるなぁ」とたくさんの利用者様が笑顔で話されており、大変うれしそうな様子でした。

恒幸園

『明かりをつけましょう ぼんぼりに〜♪』



3月3日、桃の節句は女の子の健やかな成長と幸せを祈る日になります。

地域交流スペースに利用者様の幸せを願い、真壁の方からいただいた七段のひな人形を飾らせていただきました。利用者様も幼少の昔を懐かしみ、『きれいだね〜。立派だね〜。』と自然と笑顔がこぼれます、お内裏様とお雛様がやはり注目の的になります。



恒幸園
生活介護係長
松田 ひとみ

利用者様それぞれに、ひな壇を見るとご自分の思い出が蘇ってくるようでお子さんのお祝い、お孫さんのお祝いの時のことを思い出されて温かな気持ちになっているようでした。

ひな壇を囲んだ皆様の思い出話もはずみ、お雛様と一緒にニコリ笑顔で記念撮影しました。



10年勤続者より -10年を迎えて-

恒貴会 協和中央病院 看護師長 小河原 幸子

協和中央病院に就職して、10年を迎えました。脳外科病棟配属となり、意識も低下していた患者様が、食べたい、トイレに行きたいと自ら何かをしたいという意欲を少しでも支援し、笑顔が引き出せると、改めてやりがいを感じています。そして、その笑顔は1人では引き出せず、医療チームが一丸となって支援することで得られるものと実感しています。その後も、摂食・嚥下障害看護認定看護師を取得する機会をいただき、学び多きものとなりました。今は、管理者としての知識、技術、人間としても教養を広げる必要があり、まだまだ学ぶべきことが多くあります。自己研鑽と同時に、自分を育てていただいたように後輩も育てながら、当院の目指す地域医療に看護師として貢献していけるように努力していきたいと思えます。

恒貴会 協和南病院 介護福祉士 神原 功

10年前、私は未経験で介護士としてこの恒貴会に就職しました。最初は本当に何もわからず、先輩スタッフに迷惑ばかりかけていたと思います。仕事ができない自分が悔しくて、仕事をきちんとこなせるよう試行錯誤しているうちに、いつの間にか患者さんやそのご家族から信頼されるようになっていました。

私が働くことで家族の介護のために仕事を辞めたり、変えたりする人は確実に減ります。超高齢化社会の今、介護士は縁の下の力持ちのような存在になっているのだと思うようになりました。そう考えられるようになり、この仕事にやり甲斐を感じることができるようになりました。

これからも介護に携わり、仕事を通じて成長して行きたいと思えます。

恒徳会 すみれ園 栄養主任 池田 直美

この度は、10年勤続表彰をいただきありがとうございます。これまで施設長や職員の皆様の助けや支えがあり、10年間勤務できたことに感謝しております。

私は食べることを通し、人々を健康で幸せにしたいという思いで栄養士を目指しました。利用者様にとって食事は毎日の楽しみの1つであると思いますが、高齢化や機能低下が進む中、1日でも長く、安全に口から摂取することができるような食事提供に努めることが私たちの役割であり、それが利用者様にとっての幸せに繋がるのではないかと考えています。これからも、常に学ぶ気持ちを忘れず、日々成長していけるよう、努力していきたいと思えます。

恒徳会 恒幸園 看護主任 松山 洋子

このたび、恒幸園に入職し10年を迎えることができたのは、施設長はじめ、職場の皆様、家族の協力助けがあったからこそと、感謝しております。福祉を取り巻く環境が随分変わってきました。施設看護師の仕事は、利用者様の健康管理を主としていますが、利用者様の高齢化や介護度が高くなり、病状悪化のリスクへの対応が大きな課題であります。リスクマネジメントは重要な看護師の役目であり、他職種のスタッフと、日々、協力連携しながら仕事をしています。

「継続は力なり」という言葉を胸に、常に、利用者様に寄り添いながら、利用者様が、安心して楽しみながら生活できるよう、努力して行きたいと思えます。

平成28年度 茨城県病院協会 優秀職員表彰者

高野 直江	協和中央病院	看護師長
大木 武彦	協和中央病院	財務経理課長
渡邊 賀子	協和中央病院	看護係長
飯田 一実	協和中央病院	診療情報管理室係長

平成29年度 10年勤続表彰者

恒貴会

川越 健一	協和中央病院	内科部長
小河原 幸子	協和中央病院	看護師長
細谷 みゆき	協和中央病院	エキスパートクラーク
秋元 麻美	協和中央病院	歯科技術科係長
横塚 直人	協和中央病院	主任作業療法士
酒寄 由記	協和中央病院	作業療法士
坂入 百合子	協和中央病院	エキスパート事務
島村 沙登美	協和中央病院	事務職
田所 麻美	協和中央病院	事務職
大木 省美	協和中央病院	事務職
北條 佳代子	協和中央病院	事務職
高松 知代	協和南病院	介護福祉士
潮田 晴美	協和南病院	介護福祉士
神原 功	協和南病院	介護福祉士
岩見 誠	協和ヘルシーセンター	介護士
稲見 周一	協和ヘルシーセンター	介護福祉士
深谷 学	協和ヘルシーセンター	介護福祉士
樋口 静子	大和クリニック	事務職
木下 真里	愛美園	看護係長

恒徳会

栗原 圭助	すみれ園	生活支援員
廣瀬 誠	すみれ園	生活支援員
池田 直美	すみれ園	栄養主任
谷島 朋子	菫授園	看護主任
片岡 訓幸	菫授園	職業指導員
飯村 哲也	菫授園	生活支援員
安達 はるみ	菫授園	生活支援員
石川 博康	桃香園	生活支援員
利根川 舞	桃香園	生活支援員
松山 洋子	恒幸園	看護主任

外来診療担当医表 平成29年4月

診療科		月	火	水	木	金	土	
脳外科	午前	1	中原	中原	中原	中原	中原	
		2	五味	長	黒川	手塚	長	黒川
外科	午前	1	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	石川
		2	石川	石川	民上	田中	石川	田中
内科	午前	1	玉野	玉野	玉野	川越	川越	長山
			内科	内科	内科	内科	内科	内科
		2	川越		木村	横町	磯田	
			内科		内科	循環器・内科	内科	
		3	福島	磯田	阿部田	福島	武井	(予約)新保
		内科	内科	内科	内科	内分泌内科(糖尿病)	循環器内科	
	5	田島	大内	磯田	阿治部	大内	大内	
		循環器・内科	内科	内科	消化器・内科	内科	内科	
	7		村上		磯田	海老澤		
			内分泌内科(糖尿病)		内科	内科・漢方外来		
午後 (予約のみ)	1	阿治部	村上		竹森	小笠原		
		消化器・内科	内分泌内科(糖尿病)		内科	神経内科		
	2	大場						
		循環器内科						
●内科外来の午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。								
専門外来	午後	村田	加藤					
		睡眠呼吸障害(予約のみ)	漢方専門外来					
	午前・午後 (午後予約のみ)		北川					
			循環器・内科					
小児科	午前	刈屋	長尾	長尾	佐藤	黒澤	自治医大交代制	
	午後	刈屋	長尾		佐藤	黒澤		
整形外科	午前	藤田			藤田	萩原	第1,3,4,5 木村	
	●月・木の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金(第1,3,5)は大学診療のため時間前に受付終了となります。土(第2)は休診となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。							
痛みの外来	午前			佐藤				
皮膚科	午前・午後		金子			山内		
	午前		別納		神原		幸	
●土曜日の受付は10:30までとさせていただきます。								
眼科	午前・午後		高山	高山	山下・新井 交代制	高山	午後は予約のみ	
歯科	午前・午後 (土は午前のみ)	1	串田	串田	串田	串田	岡田	
		2	大田原	大田原	大谷津	大田原	大田原	
歯科口腔外科	午前	3	第2,4 神部 第3 野口			第2,4 森		

※受付時間《午前の部》

月・火・木・金 (7:30~11:30) 診療開始 9:00
 水・土 (7:30~11:00) 診療開始 9:00
 歯科・歯科口腔外科 (8:30~11:00) 診療開始 9:00

《午後の部》皮膚科・眼科 (13:30~15:30) 診療開始 14:00

*眼科(木) (13:00~15:00) 診療開始 13:30
 内科 (13:30~16:30) 診療開始 14:00
 小児科 (14:30~16:30) 診療開始 15:00
 歯科・歯科口腔外科 (13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。

※水・土の午後 及び 日・祭日は、休診です。
 ※診察の際は、保険証をご提出ください。

※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話でお問い合わせください。

安心が地域に根ざす 医療法人恒貴会・社会福祉法人恒徳会

協和中央病院

・脳神経外科・外科・消化器科・内科・漢方内科
 ・呼吸器科・ペインクリニック内科・整形外科
 ・小児科・放射線科・皮膚科・泌尿器科
 ・リハビリテーション科・麻酔科・眼科
 ・歯科・歯科口腔外科
 茨城県筑西市門井1676番地1
 電話0296-57-6131(代)
 E-mail:kyowa@kokikai.com



協和南病院

療養病床
 茨城県筑西市門井1674番地1
 電話0296-57-5133(代)
 E-mail:minami@kokikai.com



協和ヘルシーセンター

介護老人保健施設
 茨城県筑西市門井1669番地2
 電話0296-57-6030(代)
 E-mail:healthy@kokikai.com



大和クリニック

茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-58-7788(代)
 E-mail:yamato@kokikai.com



訪問看護ステーション

愛美園

茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-20-6780(代)
 E-mail:aibien@kokikai.com



障害者支援施設 すみれ園

茨城県筑西市門井1677番地21
 電話0296-57-5125(代)
 E-mail:sumireen@kohtokukai.jp



障害者支援施設 堇授園

茨城県筑西市門井1687番地1
 電話0296-57-3400(代)
 E-mail:kinjyuen@kohtokukai.jp



障害者支援施設 桃香園

茨城県桜川市大國玉2513番地10
 電話0296-58-7870(代)
 E-mail:tohkaen@kohtokukai.jp



新型特別養護老人ホーム

恒幸園

茨城県筑西市向川澄98番地1
 電話0296-57-7268(代)
 E-mail:koukouen@kohtokukai.jp



編集後記

寒い冬を越え、木々の花々が芽吹き始める様子に、春の訪れを感じる季節になりました。入学や就職など、新たなスタートに期待を膨らませる方も多いと思います。はぐるまの編集委員になり1年が過ぎました。手探りだった1年目から2年目のスタートです。皆様にご興味いただけるような内容をお届けできるように頑張っていきたいです。最後に、はぐるま92号の発行にあたりご協力いただきました皆様、ありがとうございました。(廣瀬)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

●発行責任者／中原昇

●編集委員／相澤明美 飯泉茂徳 上野敏子 堤谷博之 杉田恵美子 野村正浩 高松紀平/猪野貴之 廣瀬俊樹